

特集 1 / 充実される町民の足対策

特集 2 / 住民参加型の健康づくり

町政スポット / 町生涯学習推進大会 町行財政改革推進審議会 ほか

カメラさんぽ / ～雪あかり～ワインの夕べ2007

まちの話題 / 朝日自然観ジュニアスキー大会 町体育協会表彰式

まちづくりアイデア発表会 ほか

こらー、どろぼう！ しまった！

昔話きいてみんなのつどい  
(3月11日；創遊館)

広報

# あさひまち

2007年3月号

No. 604

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。



住民と一緒に利用しているスクールバス

平成11年度に大きな見直しを行っている町の総合交通体系。町営バスのダイヤ改正や昼間タクシーの運行など、利用者からの要望があった際は、その都度改善してきましたが、少子高齢化や道路など生活基盤の整備が進むと共に、地域住民の交通手段に対するニーズは当時と大きく変化してきています。

これを受けて町では、再度交通体系の見直しを図るべく検討を重ねてきました。その結果、運行バスの効率性や高校生の通学手段などに主眼を置く新たな対策が講じられたところです。その主な内容について紹介します。

## 特集 1 充実される町民の足対策

# 住みやすいまちづくりの実現のために…

**交通が不便な地域ほど高い公共交通機関への期待**

現状と課題

現在運行している公共交通機関は、民間が運営している路線バス、町が運行している町営バスやスクールバス、保育園の保護者会が運営している保育園バスがあり、それぞれの目的のためだけに運行してきました。

更に、町が民間事業所に委託運行している昼間タクシーの運行により、バスによる交通体系を補足する形で、地域住民の交通手段を確保してきました。

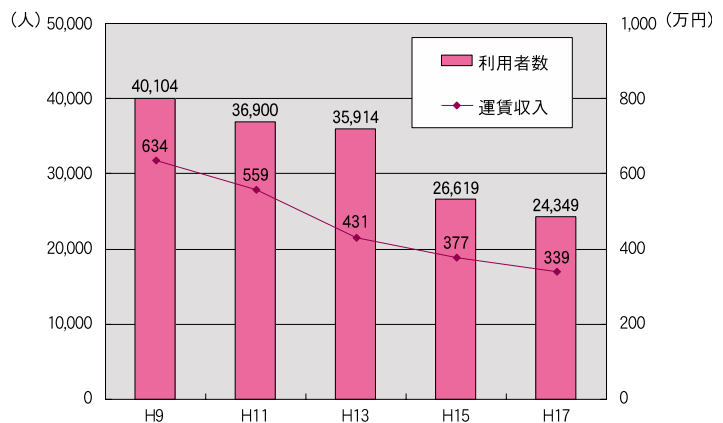
しかし、民間路線バスと町営バス共に年々利用者が減ってきており、併せて運賃収入も年々減ってきているのが現状です（図1参照）。加えて、町営バスに対する県の総合交付金についてもその対象から外れ、町財政を圧迫させている状況です。

このような状況のもと、かかる費用を勘案し、路線バスがこれまでの路線を継続しながら運営を維持していくためには、運行本数を減らさざるをえません。このことは、利用者の利便性が十分に確保できないことにつながり、更に利用者数が減っていくという悪循環になっています。

そしてまた、運行本数の減少は、高校生の通学や町外への通院にも影響

を及ぼしています。

更に、これまで自家用車を交通手段としてきた人たちの中には、高齢になるに連れて車の運転ができなくなる人（世帯）も増えてきており、公共交通機関への期待とその役割は、交通が不便な地域ほど高くなっているのも事実です。



(図1) 町営バスの利用状況の推移

**地域タクシーの路線拡大と  
高校生の定期券購入に補助**

新たな対応策

町民にとって住みやすいまちづく



# 新たな交通対策に 感謝します

川通区長 志藤 信勝さん

これまでバス停から遠かった川通地区は、自家用車やタクシーに頼らざるをえない状況で、区内の中には、数人共同でタクシーを呼び宮宿に行っている人たちもいました。また、週2日だけでも定期的に宮宿へ通えるようになれば…との声もあったため、大沼発のスクールバスを川通経由にできないかと要望をしてきたところでした。

今回の地域タクシーの運行で交通手段が確保され、ある一定の要望がかなえられたものと喜んでいきます。

また、誰であれ年は取っていくもの。常に健康で車の運転ができるとは限りません。自家用車に代わる交通手段が確保されることで、安心して住める地域になっていくのではないかと思います。

この町に安心して住めるよう、今後も利用者の立場に立った交通対策を、更に進めていってもらえればと思います。

りの実現のために、これまで同様、町営バスを始めとする公共交通機関として、バスの果たす役割を堅持しながら運行していきます。

## ● 効率性を高めた運行

地区住民がスクールバスを利用できる路線を拡大することで、重複路線を解消します。

## 【具体策】バスの統合

町営バス2台、中学スクールバス4台、計6台での運行台数を、平成19年度から、町営バスの「立木白倉線」と中学スクールバス「あさひ2号」を一体化し、計5台（町営バスを1台減）で運行。効率性を高めま

す。また、地域の足となる「町民バス」として、スクールバスの運行体制を住民のみなさんが利用しやすいように整備していきます。

## ● 利便を向上させた運行

- ① 既存のバス路線は維持します。
- ② 利用料金の値上げはしません。
- ③ 地域タクシーの路線を拡大します。

## 【具体策1】新規路線の設置

バス路線から遠い4集落【雪谷・平・舟渡・川通】と赤釜地区に、宮宿までの往復1便（朝は宮宿まで、昼は集落まで）を週2日、新たに運行します。運行曜日は、当該集落と協議した上で決定します。

## 【具体策2】朝便の運行

昼間タクシーが週2回運行している10集落【今平・大舟木・水本・下芦沢・大沼・大暮山・能中・八ツ沼・高田・長沼】について、夏休みなど長期休暇でスクールバスが運休の場合、朝、宮宿まで新たに運行します。運行曜日は、現昼間タクシーが運行している曜日の週2日となります。

## ● 高校生の登下校対策を充実

## 【具体策1】定期路線バスの増便

JRとの接続などについて、山交バス（株）と協議した結果、図2のような3本の増便が決定しました。また、

## 【具体策2】定期券購入へ補助

「宮宿（朝日町役場）から左沢（左沢駅前）までの往復、片道両方に適用される山交バス（株）発行の定期券購入費を補助します。補助率は50%です。

## 予算措置について

利便を向上させた運行に関わる対策費として1661万円、高校生の登下校に関わる対策費として300万円を、平成19年度予算に計上しています。

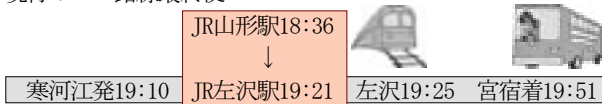
なお、これらの新たな対応策については、来る4月1日からの運用となります。ぜひご利用ください。

政策推進課戦略推進係

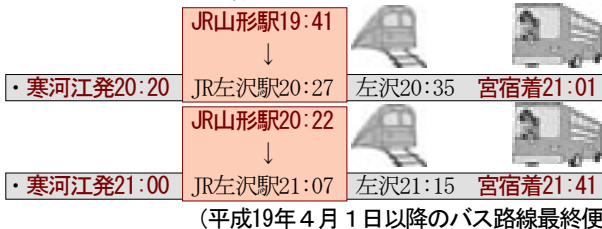
67-2112

### 【下り路線（山形駅→左沢駅→左沢→宮宿）】

◇現行のバス路線最終便



◇平成19年4月1日より増便（2便）



### 【上り路線（宮宿→左沢→左沢駅→山形駅）】

◇現行のバス路線最終便



◇平成19年4月1日より増便（1便）



（平成19年4月1日以降のバス路線最終便）

（図2）平成19年4月1日より増便される山交バスの通過時刻とJRとの連結時刻



## 特集2 住民参加型の健康づくり

# 糖尿病予防教室の取り組みから

朝日町では糖尿病予防を目的とした住民参加型の健康づくりをめざし、平成17年度より3カ年の計画で「糖尿病予防モデル事業（山形県国民健康保険団体連合会主催）」を実施しています。

糖尿病予防は、生活習慣を見直すことから始まります。目標をもって取り組むことで確実に変えていくことができることを、受講生の取り組みなどから紹介します。

### 実践1 糖尿病予防教室 からだすっきりセミナー

基本健康診査の結果、血糖値が要指導域で参加希望のあった16人を受講生とした糖尿病予防教室「からだすっきりセミナー」を展開しています。受講生は、実施初年度（平成17年度）生を1期生として、今年度の2期生を合わせると32人になります。

その内容は、集団学習による糖尿病予防についての知識の習得と、生活習慣の改善に向けた具体的な取り組みについて、保健師や管理栄養士が個別面接により支援するというものです。また、血液検査や入院研修の実施など、町立病院と連携しながら受講生を支援しています。

#### ■実施内容

1年目は、糖尿病予防のための知

識や取り組みについて、集中的に学習しています。その内容は、疾患について理解する医師講話、町立病院に1泊しての入院研修、ウォーキングや室内運動・アクアビクスなど運動に関する講話と実技、調理実習やカロリー計算をしながら食べるバイキングなど食事に関する講話と実技などです。また、個別面接で、個々の取り組みを町の保健師と管理栄養士が支援しています。

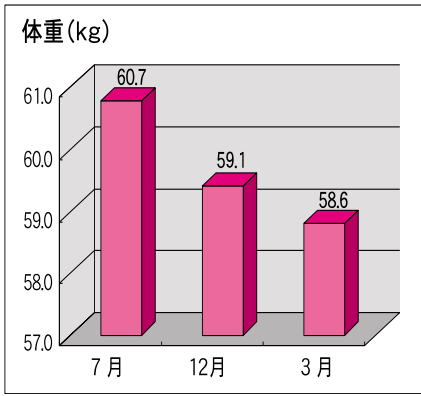
受講生が1年目に学習したことを実践していくために、その後2年間は、運動や食事の実践についての集団学習（年5回程度）を中心に、継続的な取り組みを支援しています。

1期生2期生が交流しての合同学習も実施しています。

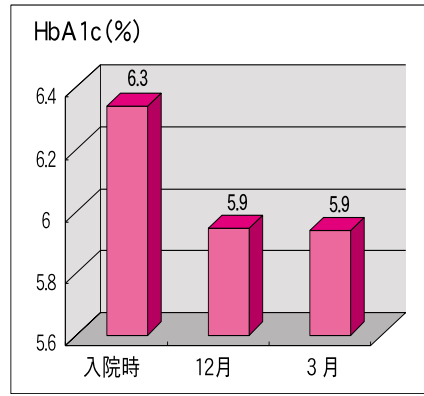
#### ■1期生の検査データ結果と反応

##### ①体重の変化（図1参照）

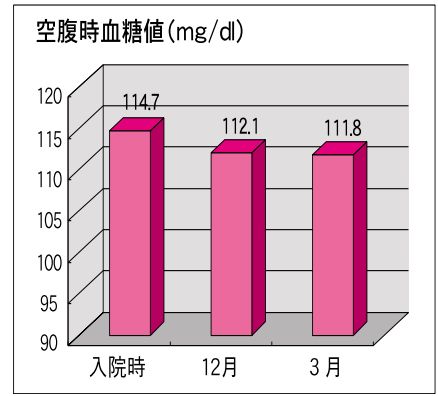
受講生の体重の平均値を比較する



(図1) 体重平均値の変化



(図2) HbA1c平均値変化



(図3) 空腹時血糖値の変化

## 用語の解説

### HbA1c【ヘモグロビンエーワンシー】

ヘモグロビンは酸素と結合して全身に酸素を送る働きをしている。HbA1cはそのヘモグロビンのうち糖（グルコース）と結合している割合を表したもの。血糖値が高いほどヘモグロビンに結合する糖の量が多くなる。HbA1cは過去1～2カ月間の血糖の状態を反映する。

基準値 5.8%以下

と、7月から3月までに2・1kg減少してしました。特に、運動不足になりがちな冬期間にも増加に転じなかったことは、各々が食事や運動の具体的な取り組みを継続できていることを表しています。

②HbA1cの変化(図2参照)  
入院研修時と3月の平均値を比較すると0・4ポイント低下。検査を受けた受講者全てに改善がみられ、個々の励みにもなりました。

③空腹時血糖の変化(図3参照)  
入院研修時と3月の平均値を比較すると2・9mg/dl低下しており、正常値110mg/dl未満は9人でした。

自分の目標に向かって主体的に取り組んでいる受講生の一人は、「体

重などを記録し続けることで、自分の体に関心を持つようになった」と語っています。「運動をすることで体調が良くなったと感じた」と、自分に合った運動方法を見つけ、運動の継続による効果を実感したという声もありました。その他に、「食事の仕方について意識するようになり、外食時もバランスを考えるようになった」という声や、「家族と一緒に歩いてくれた」という声もあり、健康づくりのために家族が支えになってくる事例などもあったようです。

志を同じくする者同士で仲間づくりもでき、「受講生同士で声をかけ合い頑張った」「お互いを励みとしたことで、意欲を継続することができた」と振り返っていました。

## 実践2 地区健康教室 出前講座

基本健康診査及び国保診療データなどから選考し、平成17年度～18年度に計9地区で糖尿病予防教室「出前講座」を実施しました。

その内容は、町立病院長による講話「糖尿病について」や、健康運動指導士による運動「自宅でできる簡単体操」の2回。また、管理栄養士が考案したヘルシー弁当を、食生活

改善推進協議会（伊藤キエ子会長）の協力を得て調理し、参加者のみなさんに試食していただきました。

参加者からは「糖尿病が生活習慣と密接な関係にあることを実感できた」「ヘルシー弁当を食べてみて味付けやご飯の量の目安が分かった」「運動を楽しみながらできた」との感想をいただいています。



ヘルシー弁当

### ◇これからの健康づくり◇

健康増進法には、「自分から主体的に健康づくりに取り組むことが国民の責務」と明記されています。健康で自分らしく生活するためにも、生活習慣を振り返り、ライフスタイルに合った食事の工夫や運動の取り入れ方を、まずは一つ見つけて行動してみることから始めてみませんか。なお、平成19年度も、からだすっきりセミナーを継続して実施する予定です。血糖値に不安をお持ちの方はぜひご相談ください。

問 健康福祉課健康推進係

☎ 67-2116



女性文化（おどり）教室による発表



町観世流謡曲愛好会による謡曲の発表

第19回町生涯学習推進大会が2月25日、自治公民館役員等町民約350人の参加を得て、創遊館で開催されました。大会に先立ち、町体育協会（花山忠夫会長）表彰式が行われ、殊勲賞、優秀賞、功労賞に輝いた18個人1団体（詳細は13頁「まちの話題」）それぞれに、花山会長より賞状とメダルが授与されました。その後、学習活動の事例発表があり、観世流浅井重弥先生の門弟で、生涯学習として20年以上習い続けている朝日町観世流謡曲愛好会の発表、町連合婦人会主催の女性文化教室の中からおどり教室の発



中奥良則氏の講演

表が行われ、学習活動の成果に会場からは大きな拍手が贈られました。その後、「協働でつくる元気なまち・楽しいまち」と題し、(株)トラバールニュース社まちづくり観光研究所主任研究員の中奥良則氏の講演が行われました。中奥氏は、全国各地で取り組まれている住民と行政の協働によるまちづくりの実例を挙げながら、「朝日町のエコミュージアムの活動が、最終段階として地域の収益につながる事が大切」「情報を住民と行政が共有し、計画から実践まで共に地域を考え行動すること」「住民と行政のコミュニケーションが基本」「住民が楽しく地域づくりに携わっていくことが基本で、さらに将来を担う子どもたちに伝えていく、つないでいくことが大切」などと語りました。

## 全国町村議会議長会表彰

優良議会に朝日町議会 自治功労に遠藤秀利議員



町議会本会議（3月定例議会）の様子

2月6日に東京で開催された全国町村議会議長会第60回定期総会の席上、朝日町議会（白田金次郎議長）が全国町村議会議長会より表彰を受けました。議会活動が活発な優良議会として、山形県町村議会議長会から推薦を受けていたもの。議会運営の向上と住民福祉を増進した功績が認められ、県内では22町村議会中、朝日町と舟形町の2町のみを受賞となります。

「これまで真剣に取り組んできた先輩たちの功績

もあつたものと、議員一同うれしく思っています。とりわけ議会の品格が問われているこの時期に受賞できたこと、町民のみなさんからも喜んでいただけるのではないのでしょうか」白田議長の喜びの声です。

また、町議会議員の遠藤秀利さん（栗木沢）も全国町村議会議長会より自治功労者として表彰。併せて2月16日、山形県町村議会議長会長表彰を受賞しました。



右が遠藤議員

遠藤さんは、平成3年5月に町議会議員として初当選してから現在に至るまで16年の長きにわたり、地方自治と郷土の振興発展に寄与してこられました。その間、議会運営委員会委員長、総務建設常任委員長、文教厚生常任委員長、総務文教常任委員長等を歴任し、優れた政治信念を持って町の産業、経済、教育、文化、福祉の向上に多大な貢献をされました。これらの功績が名実共に認められての受賞です。



町行財政改革推進審議会 (2月23日/役場)



審議会委員のみなさんに平成18年度の推進状況が報告された

朝日町行財政改革推進審議会(多田賢司会長)が2月23日開催され、集中改革プランの今年度の進捗状況が報告されました。

平成18年度は、職員数の削減、給与構造の見直し、勤務時間の弾力的運用による時間外勤務手当の削減など、積極的に内部経費の削減に努めた結果、改革効果額は1億3538万4千円となりました。委員からは「朝日町総合発展計画の実現のために行財政改革を行わなければならないという、行財政改革へ取り組み目的を、町民にもっとPRし、理解を得ることが必要だ」「今後の保育園のあり方につ

いては、町の将来を担う子どもたちのことを十分に考慮し、結論を出してほしい」などの意見が出されました。

また、病院給食の委託を一年先送りすること、町有施設の一元管理を行うことなど、集中改革プランの変更も提案され承認されました。

平成19年度は、新たに図書館業務の委託、水道管理業務の委託、補助金、各種使用料・手数料、保育料の見直しなどが実施されます。

朝日町総合発展計画の実現のためには、行財政改革が必要不可欠であり、町民のみな様のご理解とご協力をお願いいたします。

旅立ちの日

「僕の前に 道はない  
僕の後ろに 道は出来る」  
高村光太郎の詩「道程」の冒頭の一節です。

私たちの知らない未知なもの、これから来るであろう将来に、私たちは漠とした不安と、なぜか分からない期待と両方の感情を抱くものです。答えのない解答を見出す旅。あるいはこれが人生なのかも知れません。

不確実性の時代と言われて久しい現代。こういう時代に何が最も大切か。それは、どんなことがあっても、そして、何があっても生きていける力、これを身に付けることです。

ある脳科学者が言っていました。「正解が決まっていけない時、決断をする上で最も大事な働きをするのが感情である。先の見えない不確実な状況の中で、正しい適切な判断をするためには、自分の情緒・感情を豊かなものとして育てていかなければ

ならない。感情こそが、人生の不確実性を乗り越えるために不可欠なものである」と。

人生がうまくいっているかどうか、自分のやっていることが正しいかどうか判断するのも、自分の感情なのです。自分の今やっていることを楽しむこと、楽しいと思える状態に保つことが大切なのです。

それでも、どうしようもなく辛く苦しいことがあった時、そんな時は、ふるさとを思い出してください。父、

母、家族を思い出してください。ふるさとを君を、いつも、いつまでも温かく見守っています。

親は子にとって最後の砦です。どんな時でも我が子を見守り続けます。そして、子は、この砦を踏み越え、雄雄しく羽ばたかなければなりません。

さあ、若人たちよ。今、未来の大空に向かつて雄雄しく羽ばたけ!

朝日町長 鈴木浩幸

現在進行形 平成のRINGO PJ vol.11

アップル路鳥(粗挽ウイナー) 第1回やまがた農産加工大賞で 奨励賞を受賞!

山形県内の食材を原料として、付加価値性の高い農産加工食品を作り出した事業者を顕彰する第1回やまがた農産加工大賞の審査会が2月16日行われ、(株)山形朝日オーストリッチ産業センター(佐藤俊實社長)で生産された「アップル路鳥(粗挽ウイナー)」が奨励賞を受賞しました。清水工業団地内に来る4月7日、生産・直売所「朝日町健康工房《ロイフェン》」がオープンす

るのを前に、うれしい朗報と関係者一同喜んでいきます。

「誠にありがたいこと。と同時に、今後もこの賞に恥じない製品を作っていかなければならないと心を一新したところです」と語る佐藤社長。生産担当の熊谷良作さん(新宿)は、「安心・安全という消費者ニーズに応えられるよう、今後も努力していく。本場ドイツの味をぜひ楽しんでください」と笑顔で語ってくれました。



# 協働によるまちづくり活動への支援

## 地域提案型交付金制度を創設します。

地方自治体の自主性や自立性を高め、個性豊かで活力に満ちた地方社会の実現を図るため「地方分権法」が施行され、地域の課題は地域住民が主体的に取り組んで解決をはかるまちづくりの時代になっています。

その一方で、現代の少子高齢社会においては、これまでに例のない行政課題も多く発生しており、行政が一元的に対応するには人員や予算にも限度が生じています。住民と

の協働、あるいは、むしろ住民だけで取り組む方が、何の制限もなく効果の上がる領域が広くなると言われています。

町では、これらの課題に対処する協働の活動を、平成19年度から支援していくことになりました。「朝日町地域総合交付金制度」の創設です。

これまでの補助金等とは異なり、創意と工夫を生かした「元気な地域づくり」をめざす各地区住民自治活動やまちづくり団体等に、提案型交付

金を交付するものです。

その内容は、高齢者事業や地域の美化事業等を対象とする「地域活性化基本事業」と、地域の安全対策や高齢者世帯の雪下ろしへの支援などを対象とする「地域実践事業」。

そして、地域で立案し地域の活力を上げる事業等を対象とする「地域提案事業」の3事業です。

更に、地域の創意や工夫、熱意を尊重するため、実施前に概算交付金を支給するほか、用途についても細かい制限などは加えず、使い勝手の良いように配慮します。

自立のまちづくりは、持続性のある地域が集まって成り立つもの。みなさんの地域活動が「住みよい・住み続けたるまちづくりに繋がっていくことを期待しています。

問 政策推進課戦略推進係

☎ 67-21112

## 協働って何？

地域の課題解決に向けて、行政単独では解決できない問題がある場合、または住民だけでは解決できない問題などがある場合に、お互いの不足を補い合い、課題解決に向けて協力していこうとする取り組みです。

つまり、自分たちの地域やまちづくりに関することを、住民のみならず行政と一緒に進め目的を達成していく。それが「協働」であり、その主体となるのは住民です。

行政に任せきりということではなく、まずは自分たちの考えを持ち、行政と一緒に行動して住みよい地域を創っていく。これからのまちづくりには必要不可欠なものです。

## 町有施設の使用料及び一部手数料が改正されます(4月1日～)

4月1日より、次の町有施設の使用料及び土地や建物、税に関する各種証明等発行の手数料が改正されます。それぞれ**10%程度の増額**となるほか、昼間と夜間で異なっていた施設の使用料については、同額に設定されます。詳細については、利用施設に備え付けのチラシや町のホームページをご覧ください。



町が取り組んでいる行財政改革の一環であることをご理解の上、ご協力をお願いします。

なお、各施設の使用料については、一定の条件を満たせば減免や免除される場合があります。

### ■使用料が改正される施設

- ①エコミュージアムコアセンター創遊館 ②西部

- 公民館 ③秋葉山交遊館 ④農業体験交流施設(ときめき体験館) ⑤健康増進センター ⑥町民体育館⑦北部体育館 ⑧小中学校施設(屋内運動場など) ⑨教育研究所(旧立木小学校) ⑩開発センター

### ■改正される主な手数料

- ①土地・建物に関する証明 ②納税・資産・所得に関する証明 ③耕作証明 ほか

問 開発センターに関すること

総務課 ☎ 67-21111

その他の施設に関すること

教育文化課 ☎ 67-21118

土地・建物、各種税証明に関すること

税務町民課 ☎ 67-2107

耕作証明に関すること

農業委員会事務局 ☎ 67-3307

# 第16回 統一地方選挙

4月8日は山形県議会議員選挙  
4月22日は朝日町議会議員選挙

## の投票日

◎山形県議会議員選挙と朝日町議会議員選挙が来月行われます。  
◎朝日町議会議員選挙については、このたびの選挙から定員が4人減り12人になります。  
◎私たち住民の代表を決める大事な選挙。棄権せずに投票しましょう。



### ■投票ができる方

県議会議員選挙は、昭和62年4月9日までに生まれた方で、平成18年12月29日までに転入届を出した方です。ただし、朝日町の選挙人名簿に登録されている方で、県内の市町村に住所を移した場合、その住所移転が一回限りであれば朝日町で投票することができません。この場合、移転先の市町村が発行する「引き続き山形県内に住所を有する旨の証明書」が必要になります。

### 町議会議員選挙 過去の投票率

平成15年…89.17%  
平成11年…92.13%  
平成7年…92.13%

町議会議員選挙は、昭和62年4月23日までに生まれた方で、平成19年1月16日までに転入届を出し、投票当日に朝日

### 町に住所を有する方です。

■期日前投票ができます  
投票日に次の理由で投票できない方は、期日前投票をすることができます。

- ①投票日に仕事などで投票所に行けない方。
- ②投票日に何らかの理由で投票区の区域外にいる方（従来までの不在者投票事由と同じ）。ただし、名簿登録地以外の市町村や、病院や施設（町内では、町立病院、ふれあい荘、明鏡荘が指定されています）に入られている方の不在者投票は、以前と変わりなく行われます。

### ■期日前投票ができる場所と時間及び期日

- ・朝日町開発センター（二階研修室）  
午前8時30分～午後8時
  - ・県議会議員選挙  
3月31日（土）～4月7日（土）
  - ・町議会議員選挙  
4月18日（水）～4月21日（土）
- 郵便などによる不在者投票  
町選挙管理委員会から郵便投票証明書を受けられている方は、県議会議員選挙は4月4日まで、町議会議員選挙は4月18日までに投票用紙の請求をしないと投票できませんので、早めに証明書を添えて請求してください。

問 朝日町選挙管理委員会

☎ 67-2111

### 統一地方選挙 標語

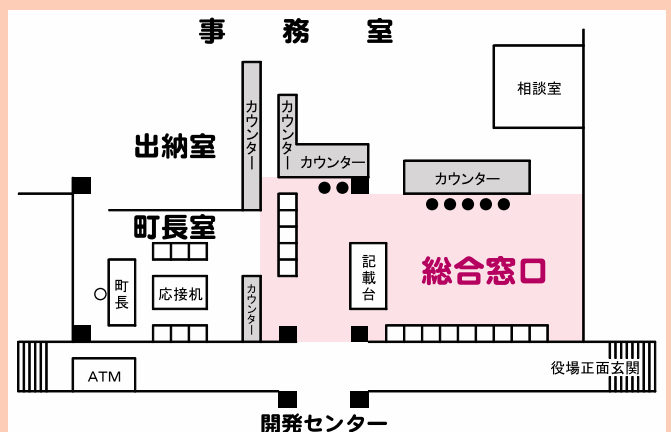
その思い、声に出してみませんか？

## 窓口受付「ワンストップサービス」で便利になります

### 役場1階に《総合窓口》を設置

住民票、税務諸証明、児童手当申請等については、これまで各々の窓口で受付を行っていましたが、町民のみなさんにとってより利用しやすい窓口「ワンストップサービス（来客者が一つの窓口でほとんどの用事を済ませること）」をめざし、4月1日より役場1階に総合窓口を設置します。

役場庁舎内の総合案内も兼ねての設置です。お気軽に声をかけてください。





冬季定番の大人気イベント

新メニュー「ワイン風味ダチョウ寿司」の盛り付け



朝日町商工会女性部主催

～雪あかり～ワインのタベ2007

平成19年2月17日(土) 開発センターホール



終始にぎやかな雰囲気にもまれた会場



「ワインの夕べ」が2月17日、開発センターホールを会場に開催されました。町商工会女性部（阿部玲子部長）が毎年この時期に主催している恒例のイベントで、朝日町ワインをこよなく愛するおよそ150人が、楽しいひとときを過ごしました。

会場には、2006国産ワインコンクール（山梨県甲府市）で入賞したワインや、山形セレクトシヨンの認定されたワインなど、全16種類のワインが用意されました。

そして、もう一つのお楽しみ。それは、タチヨウ肉のたなきや今回新たなメニューとして加えられた「ワイン風味タチヨウ寿司」など、女性部のみなさんのもてなしの心が凝縮された手料理。舞台ではプロダンサーによる情熱のフラメンコなども披露され、会場は終始にぎやかな雰囲気にもまれていました。



おいしいね





山形セレクション  
(2月12日/霞城セントラル)

# まちの話題



町広報委員会研修  
(2月21日/福島県伊達市)

## ① 第9回朝日自然観ジュニアスキー大会(2月17日/朝日自然観スノーパーク)



### 3年男女と直滑降競技を新設

今年で9回目を迎える朝日自然観ジュニアスキー大会が2月17日、朝日自然観スノーパークのユーゲレンデを会場に開催されました。

旗門をクリアする回転競技に3年生男女の部門を新たに新設。また、直滑降競技も新設され、装いも新たな大会となりました。町内全ての小学校から合わせて47人がエントリー。学年別、男女別に競技が行われ、旗門を果敢に攻め込む滑りとスピード感あふれる子どもたちの滑りに、ギャラリーからは盛んな拍手と声援が贈られていました。

結果については、次のとおりです。

【スラローム競技】▽3年男子①安藤力哉(宮)②鈴木諒真(宮)③村山諒真(宮)▽同女子①白田彩華(大)②若月梨加(和)▽4年男子①鈴木健太(宮)②安孫子巧(宮)③佐藤祥真(和)▽同女子①滝川瀬奈(宮)②遠藤優佳(大)③浅岡美穂(宮)▽5年男子①阿部航瑠(西)②最上峻太(大)③阿部幸大(西)▽同女子①阿部果歩(西)②菅井桃香(宮)③齊藤彩美(西)▽6年男子①村山晃規(宮)②阿部拓実(西)③白田篤史(大)▽同女子①阿部真里奈(西)②阿部美咲(西)③鈴木遥子(西) 敬称略

【直滑降競技】▽3,4年男子①安藤力哉(宮)②志藤慶太(大)③鈴木諒真(宮)▽同女子①滝川瀬奈(宮)②浅岡美穂(宮)③遠藤優佳(大)▽5,6年男子①阿部航瑠(西)①白田篤史(大)③細谷浩司(宮)▽同女子①阿部美咲(西)②清野碧(和)③阿部果歩(西) 敬称略

※○内数字は順位

※(西) = 西五百川 (宮) = 宮宿  
(和) = 和合 (大) = 大谷

## ② やまがた森と緑の親子夢未来コンサート(2月12日/文翔館議場ホール)



人形劇を演じたおはなし会ぶなの実

### おはなし会ぶなの実が出演

2月12日、山形市の文翔館議場ホールで開催された「やまがた森と緑の親子夢未来コンサート」に、当町を中心に絵本の読み聞かせなどを行っている「おはなし会ぶなの実(登坂ひかる代表)」が出演し、人形劇のマリオネット『十二の月の物語』と当町在住の写真家姉崎一馬氏が撮影した森の中の写真を使った語り「森のおはなし」を上演しました。

平成19年4月から導入される「やまがた緑環境税」の普及啓発活動イベントの一環として、このたび県が初めて開催したこのコンサート。会場には親子連れなど約120人が詰めかけ、舞台間近の特設フロアは、食い入るようなまなざしで人形劇に見入る子どもたちでいっぱいになりました。

### ③町体育協会表彰式(2月25日/創遊館ホール)



#### 功績のあった1団体18個人を表彰

この1年間、スポーツの分野で活躍したみなさんの功績をたたえる「朝日町体育協会表彰式」が2月25日、町生涯学習推進大会の席上、創遊館ホールで開催されました。

受賞者を代表し寒河江高3年の清野由依さんは、「弓道を通して培った精神力を今後の人生に生かしていきたいです」とあいさつしました。

受賞者のみなさんは次のとおりです。

(所属/競技種目/集落名)

【殊勲賞】菅井寛之(法政大4年/ケイリン/小原) 白田淳(山形大2年/陸上競技/西町) 清野由依(寒河江高3年/弓道/古楨) 佐藤弘歩(日大山形高3年/バスケットボール/小原) 堀敏也(山本学園高3年/剣道/栗木沢) 成原毅敏(山本学園高3年/剣道/前田沢) 岡崎里沙(山本学

園高3年/剣道/大町) 村山仁(酒田商業高2年/剣道/大谷七) 清野一人(山形南高2年/バスケットボール/四ノ沢) 阿部岳志(山形南高2年/弓道/立木) 岡崎覧彩樹(山本学園高2年/剣道/下芦沢) 五十嵐利佳(山本学園高2年/剣道/舟渡) 長岡利平(寒河江高2年/剣道/松原) 高橋拓也(朝日中3年/柔道/常盤) 和田麻里奈(朝日中3年/柔道/小原) 近藤香澄(朝日中2年/陸上競技/栄町) 朝日中女子バスケットボール部(清野倫・佐竹美咲・鈴木萌枝・鈴木里美・鈴木美咲・五十嵐綾華・白田真唯・佐藤真奈巳・長岡のぞみ・志藤彩萌・清野真好・若月未来・鈴木詩織・鈴木琴美)

【優秀賞】柴田明日香(宮宿小6年/水泳/元町)

【功労賞】菊地徳一(町ゲートボール協会/ゲートボール/栗木沢) 順不同、敬称略

### ④未来の校歌「大すきな和合小」在校生に贈る(3月1日/和合小学校)

#### 旅立つ母校に思いを寄せて

旅立つ母校に思いを寄せこのたび和合小学校を卒業する13人が、みんなの心にいつまでも残る歌「大すきな和合小」を作詞し、3月1日行われた6年生を送る会の席上、在校生に贈りました。

昨年度に総合学習で発掘した旧校歌と現在の校歌に次ぐ「未来の校歌」を作ったもので、「きしむ廊下」や「丸い階段」など長い歴史を象徴する校舎の様子や6年間の思い出、そして感謝の心が、4番までの歌詞の要所に表現されています。その詞に担任の石川綾先生が曲を付けました。歌詞の

内容が生きる軽快で明るい曲に仕上がっています。

6年生の菅井梓帆さん(小原)は、「和合小の長い歴史やいいところがもれなく表現できた。思い出のいっぱい詰まった内容にまとまって、とてもうれしい」と語ってくれました。今後、現校歌と共に、様々な学校行事の中で歌われることになるということです。



## ⑤おいしいものフェア2007(2月10~12日/ビックウイング)



### 4店舗が町の特産物をPR

2月10日から3日間の日程で、山形市の国際交流プラザ(ビックウイング)で開催された「おいしいものフェア2007」に当町より4店舗が出店し、詰めかけた多くの来場者たちに町のおいしい特産物をこぞとばかりにとPR、販売しました。

3日間で3万8千人が来場。朝日町特産のりんごやワインを使用したお菓子やケーキ、ダチョウの加工品などが展示、即売されました。来場者からは「朝日町に行ってみよう」「朝日町をもっと知りたい」との声が多く聞かれ、「販売促進活動の成果」と出店関係者たちは今後の販売戦略に大きな手応えを感じた様子。

町商工会青年部として出店した阿部安彦代表(大谷五)は、「これからも朝日町を色々なところでPRしていきたい」と語ってくれました。

## ⑥まちづくりアイデア発表会(2月27日/西五百川小学校)

### りんごにスポットを当てる

西五百川小学校の3年生が、町の特産品であるりんごにスポットを当て、総合学習の中でこの1年間学んできた成果を発表する会が2月27日、同校で開催されました。園地を提供してくれたのは阿部為吉さん(常盤)。5月の花摘みや10月の葉摘み、11月の玉返し、そして収穫など一連の栽培行程を、阿部さんの指導で直に体験してきた児童たち。その集大成となったのがこの発表会です。阿部さんほか15人の保護者、町りんご産業担当者も招待を受け、子どもたちが育てたりんごを使い焼き上げたアップルパイでもてなされました。

「りんごにスポットを当てたまちづくり」というテーマで13人の児童一人ひとりが発表。『りんごの野球場』を建設し少年野球の全国大会を開くといったスケールの大きいアイデアから、すぐに

でも商品化に向けて進めてみたい『りんごのシャベット』や『りんごのにおいのするりんご石けん』、そしてハロウィンパーティーで使われるかぼちゃランタンのりんご版『りんごのランタン』や『全国アップルパイコンテスト』など、11月の第3日曜日『りんごの日』の催しとしてすぐにも実現できそうな提案がなされました。

発表する児童たちの目には、大きな夢と体験から得た自信があふれていました。



りんごのランタンを提案した朽木瑠佳さん

話になっ  
一年お世  
ど、この  
境整備な  
育園の環  
指導、保  
こ畑での  
やちびっ  
日、お茶



■わかば保育園では2月22日、お茶碗よりも小さな茶道具に興味津津で、身をのり出して見入る園児たち。「ちよつと苦かった」「お手前は緊張した」などと感想を語っていました。

自宅で使用する湯飲み茶碗よりも小さな茶道具に興味津津で、身をのり出して見入る園児たち。「ちよつと苦かった」「お手前は緊張した」などと感想を語っていました。



日本の伝統文化を体験  
茶道のお手前を披露  
■さゆり保育園で2月15日、煎茶道方  
円流家元  
総師範の  
落合照園  
氏(寒河  
江市)指  
導の下、  
園児たち  
がお茶の  
作法や楽しさ、おいしさを  
学ぶお茶会が開催されました。

## ⑦親子食育料理教室(2月18日/開発センター)



### 朝食レシピ最優秀作品に挑戦

作る楽しさや食べる楽しさを体感すること、そして親子のふれあいを目的とした親子食育料理教

室が2月18日、開発センター調理室で開催されました。今回は、1日の始まりである朝ごはんの必要性を認識し、当町がこの1年間独自に取り組んできた「朝ごはんを食べよう運動」の一環として開催。先に行われた朝食レシピコンクールで最優秀賞を受賞した「オム納豆ライス」と「根菜のあったかトマトスープ」の2品を完成させました。

「飾り付けがとても楽しかった」と感想を語ってくれたのは椎名理彩ちゃん(元町)。會田春菜ちゃん(元町)は、「お顔がくずれちゃってかわいそうだけど、おいしいと思えばこのお顔もうれしいはず!」と笑顔で試食していました。



## ⑨金属工芸ワークショップ(2月24日、3月3日/あとリエマサト)

### オリジナルジュエリーを作る

指輪やネックレスなど、オリジナルジュエリーを作る金属工芸ワークショップが2月24日と3月3日の両日、あとリエマサト(旧立木小学校)で開催されました。金属工芸作家で同施設をあとリエに活動している川勝節子さんが講師を務め、デザインに始まり蠟で原型を作り磨いて仕上げるまでの工程(鑄造は業者委託)を指導。自分だけの個性ある作品を作ろうと町内外から18人が参加しました。最後は、完成品を身に付け発表し合い、賑やかな雰囲気の中で終了しました。

うさぎのキャラクターをネックレスに仕上げた五十嵐あずさちゃん(中沢)は、「思いどおりに作られてとてもうれしい」と感想を語ってくれました。



## ⑧山形県各種果樹品評会(2月15日/コア21)

### 阿部孝晴さん カサブランカで金賞

栽培技術の向上を目的に、県JA園芸振興協議会が主催している山形県各種果樹品評会の表彰式が2月15日、JA全農山形 山形経済センター(コア21)で開催され、カサブランカを出品した阿部孝晴さん(松程)がフラワーショーで見事金賞を受賞。特別賞として山形県知事賞と東京花き共同荷受社長賞を受賞しました。「仕上がりが硬くしっかりしていて、葉も厚く、一束(5本)の仕上げ具合も申し分なし」と高い評価を得たものです。

2年前にも銀賞を受賞している阿部さん。「茎の硬さを出すのがたいへんだった。10年来の苦労が実った感じ。これに満足せず、今後も努力していきたい」と、受賞の喜びを語ってくれました。



川トキエ校長自らの思いを伝えるお茶会が開催されました。床の間の掛け軸には『花枝自短長』の文字。卒業記念に贈られたその言葉には、「一本の木の枝には、長いものもあれば短いものもある。人間も同じ。長所のない人間なんていないから、自分で早くそれを見つけて伸ばして欲しい」という、激励と祝福の意が込められています。



た方々に感謝する「ありがとうお茶会」が開催されました。交光会の堀宗光氏(四ノ沢)指導の下、お手を披露した園児たち。自分で点てたお茶を小さな両手でしっかりと抱えながら、「一年間ありがとう」と丁寧に差し上げていました。大谷小学校では2月26日、27日の両日、もうすぐ学舎を巣立っていく22人の児童たちに、茶道をおして石

# お世話になりました

2年前の4月2日、横浜から車を運転し旧明鏡橋を過ぎる辺りで「この橋を越えるとしばらくは帰らないのだな」と思ったような記憶がありますが、あつという間でした。

仕事はもちろんのこと生活全般にわたり、朝日町の多くの人にお世話になり感謝しています。山と畑に囲まれ季節を感じながら、個性豊かな色々な人と出会い楽しく過ごすことができました。農家の方にも多少なりとも顔も覚えてもらい話ができたこと、大変うれしく思います。

朝日町は何といてもりんごの町。濃厚な味のりんごを東京ではあまり口にする事とはなく、「これが本当のりんごの味か」と思ったものです。しかし、豪雪に見舞われた昨シーズンは、りんごの枝



・1979年(昭和54年)生まれ  
 ・出身地：神奈川県横浜市  
 ・平成14年4月農林水産省勤務  
 ・平成17年4月人事交流事業で町産業振興課農政係に勤務

# みんなのひろば



## 二年間の人事交流を終えて…

### 町産業振興課主任 日笠 紘

折れなどもひどく、農家の難しさや厳しさを実感しました。

大学時代から山登りをしており、朝日岳は前から登ってみたい山でしたが、朝日山岳会に所属させてもらい登山道整備や草刈りなどの事業に参加しました。山岳会の地道な活動は、毎年の朝日連峰の登山客を支えています。まもなく二年が経とうとしており、東京の友人が言うには、言葉もどうやらだいぶ訛ってきたらしいです。朝日町のこと、農業のこと、田舎のことが十分に分かったかといえ、おそらくそうではないと思いますが、ここですべてが財産であり、縁あって朝日町に来ることができて良かったと感じています。

朝日町にこれといった貢献ができていないのが心残りですが、むしろここから自分と朝日町との付き合いであり、この点を今後の課題としたいと思います。



朝日山岳会のみなさんと

## 各種大会の成績

(○内数字は順位)

### ■町民囲碁大会

(2月18日/開発センター1階和室/参加者数17)

▽Aクラス(3段以上) ①清野正幸(本町) ②今井邦雄(前田沢) ③鈴木三郎(西町)

▽Bクラス(2段以下) ①小野隆弘(大谷六) ②長岡孝治(太郎二) ③安藤昭郎(西町)

### ■第15回風神杯争奪バレーボール大会

(3月4日/大谷小学校体育館/参加チーム数12)

①峯壇A(鈴木直幸監督) ②東のっこみ(堀俊明監督)  
 ③立小路エ〜(白田元監督) ③東ぶっこみ(白井淑浩監督)

### ■第11回町民インディアカ大会

(3月4日/町民体育館/参加チーム数11)

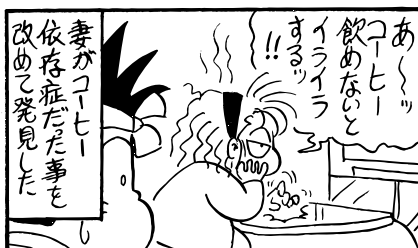
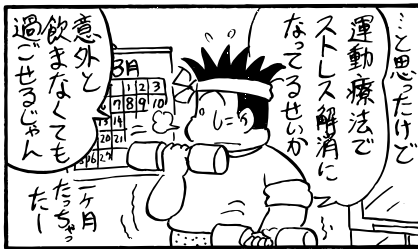
①ラッキービーちゃんズ(五十嵐修一監督) ②ウルトラマン(斉藤利彦監督) ③初代鶴光(若月祐一郎監督)



## 昭和62年の結成から20年 朝日サンフラワーズ(野球スポ少)

石塚悦雄(四ノ沢)初代監督率いる団員14人で、仮称「朝日少年野球チーム」がスタートしたのは昭和62年5月。同年7月にスポ少登録が正式に承認され「朝日サンフラワーズ」に名称が変更。現在に至っています。

結成から今年でちょうど20年。第2代清野文一監督率いる現団員は38人。これまで165人が卒団し、その中には球児なら誰もが夢みる甲子園球場で活躍した選手も存在します。



太郎 / 鈴木 千博  
美穂子 さん  
愛 空 ちゃん  
美穂子 さん

取材にうかがった玄関先。「こんにちは！」と一人で元気よく迎えてくれた美空ちゃん。実は、以前はとても甘えん坊で、お父さんやお母さんにべったりだったとか。今年1月、妹となる愛ちゃんの誕生で、自然とお姉ちゃん意識が芽生え始めたようです。新しいオムツやおしり拭きを持ってきてくれたり、夜泣きする愛ちゃんのお腹をトントンとしてあげたりと、とても優しいお姉ちゃんぶり。でも、その優しさは愛ちゃんに止まることなく、お父さんやお母さんにも…。毎日、今帰るコールをするという千博さんの電話の音に反応し、「早く味噌汁をあたためなくちゃ！」と、美穂子さんの次の行動がきちんとわかっています。動物好きで「家族みんなでパンダを見に行きたい」と話してくれた美空ちゃん。4月からは保育園です。

おじいちゃんおばあちゃんがいないだったので、美空ちゃんが生まれた時は本当にたいへんだったと語る美穂子さん。そんな時、近所の人から焼き魚をお裾分けしてもらったり、煮豆などの料理を教えてもらったりといろいろ助けていただいたことに、「地域の人たちのあたたかさを感じました。みなさんに感謝しています」と語ってくれた千博さん、美穂子さんでした。

町立図書館おすすめ  
**今月話題の本**

第136回芥川賞受賞作

**ひとり日和** 青山七恵 著

東京で暮らせるのであれば、なんだってよかった。20歳の知寿が居候することになった遠い親戚の71歳の吟子さんの家。ふたりが暮らした春夏秋冬をとおして、ヒロインの自立をしながら描く。



**鈍感力**

渡辺淳一 著

この複雑な現代社会をより良く生き抜くためには、「鈍感力」が必要である。叱られる続けた名医、五感の鈍さ、凶にのる才能、女性の強さ他、人生を愛と成功へと導く処方箋17章。渡辺流、男と女の人生講座。



その他の新刊

- ▼クジラの彼 (有川 浩) ▼5 (佐藤正午) ▼戦場のニーナ (なかにし礼)
- ▼氷結の森 (熊谷達也) ▼あなたが、いなかった、あなた (平野啓一郎) ▼風は山河より3 (宮城谷昌光) ▼所轄刑事・麻生龍太郎 (柴田よしき) ▼フィッシュストーリー (伊坂幸太郎) ▼かげろう (藤堂志津子) ▼たぶん最後の御挨拶 (東野圭吾) ▼介護が裁かれるとき (横田 一) ▼ワーキング・プア—アメリカの下層社会— (デイヴィッド・K. シプラー) ▼下流志向—学ばない子どもたち働かない若者たち— (内田 樹) ▼歓喜する円空 (梅原 猛) ▼14才の母 (一ノ瀬未希) ▼夢を与える (綿矢りさ) ▼駆け込み、セーフ? (酒井順子) ▼海亀に乗った闘牛師 (青野 聡) ▼図書館危機 (有川 浩) ほか

## みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場 政策推進課 地域情報係  
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp

■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

■携帯サイト／http://www.town.asahi.yamagata.jp/keitai



### 地上デジタル放送の町の 情報も足りない!?

**問** 二〇一一年七月、現在のアナログ放送から地上デジタル放送に完全移行するテレビ放送。日々視聴可能なエリアが拡大され、既に多くの家庭が利用している現状にあると思います。

さて、画面上の操作で県内各自治体のイベント情報などが見られるわけですが、これらの情報はそれぞれの自治体から提供されているものと思えます。ところが、朝日町の情報がなかなか更新されないほか、情報量も少ないため、もの足りなさを感じます。このたびの「キャンドル通の町」などについても、もっと早くからお知らせをしておけばよき盛り上がっただろうし、町内外へのPRにもつながったのではないかと思います。

**答** 【白田健治さん（大谷四）】  
(株)日本文字放送によるデータ放送についてのご意見かと思いますが、文字放送とは、文字や図形で作られた画面をデジタル信号でテレビ放

送波に多重しテレビ画面に表示する放送です。各自治体のイベント情報、ニュース、天気予報など、テレビ放送とは独立した様々な情報が配信されています。その内、自治体のイベント情報については、町（政策推進課地域情報係）から直接電子メールで1回当たり3つほどの情報を送っています。

ご指摘の点についてですが、(株)日本文字放送から新たな情報提供の依頼を受けた後に対応してきたため、放送時期によつては、当町の情報量が少なくなっている場合があったのではないかと思います。

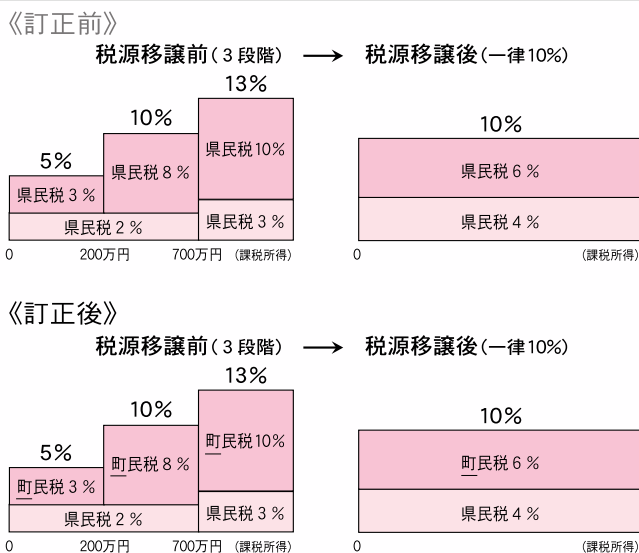
1回に放送できる情報量は限られているようです。イベント等が終了しそのデータが削除された際には、即時新たな情報が放送されるよう、随時情報を送れるような態勢を取っていきたいと思います。

なお、地上デジタル放送の朝日中継局は今年整備され、今年11月からNHKと民法4局の本放送が、一斉に開始される予定となっています。

【政策推進課】

### お詫びと訂正

広報あさひまち2月号の特集1(2頁)の《個人住民税(所得割)の課税率》のグラフの中に、下記のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。



### 飲酒運転撲滅のぼり旗を寄贈

町内3郵便局長来庁(2月19日)

2月19日、町内3郵便局の局長(川口文雄宮宿局長、大井英樹西五百川局長、佐藤徳治大谷局長)が役場を訪問し、《飲酒運転追放!》を掲げたのぼり旗100本を町に寄贈。鈴木町長にその目録が手渡されました。交通安全の啓発運動に役立ててほしいと、山形県北部特定郵便局長会が同管内の自治体に対し展開している事業です。

今後、交通の要所でそよ風になびきながら、ドライバーに安全運転を呼びかけることでしょう。





平成19年(2007年)  
■2月1日~2月28日届出



### すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
元町	堀 龍空	男	慎・麻衣
常盤	海 藤珀	男	繁幸・和恵
西町	大 竹 紬	女	誠・由希子
常盤	長 岡 大聖	男	昭博・史織
元町	渡 辺 咲花	女	友和・絹代
栄町	海 野 陽樹	男	茂・睦
四ノ沢	石 塚 佐那	女	淳二・祥子



### おしあわせに

石 沢 安 弘		五十嵐	小百合
(山形市)		(中)	沢)
阿 部 健		小 野	万利子
(四ノ沢)		(常)	盤)



### やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大 滝	柴 田 榮 子	秀 紀
松 程	阿 部 ツルエ	満 明
西 町	渡 邊 初 夫	本 人
立 木	長 岡 みつよ	和 廣 雄
常 盤	佐 竹 りつ	利 雄
西 町	渡 邊 マサヨ	本 人
松 程	鈴 木 清一郎	信 二
大 谷 五	長 岡 まさの	四 郎
西 町	鈴 木 孝 助	郁 男
川 通	志 藤 俊 見	俊 一郎
大 谷 六	渡 邊 武 夫	きぬ子
前 田 沢	渡 邊 糸 子	竹 治
大 谷 四	白 田 朝 雄	光 弘

## 人口と世帯数

- 平成19年2月28日現在
- 人 口 8,624人(減10人)
- 男 4,275人(減1人)
- 女 4,349人(減9人)
- 世帯数 2,547戸(減1戸)
- ( )内 前月比



## トリニティ先生の 英語にチャレンジ!

### Global Warming

There is a major topic concerning the nations of the world, global warming. Recently in America, there was a movie which tried to make people more aware of the problem. The movie is called "An Inconvenient Truth."

Here are some things that are happening in our world today as a result of global warming. Glaciers are melting, plants and animals are being forced from their habitat, and the number of severe storms and droughts is increasing. Even in my young life, I have begun to see the effects of global warming.

There are ways we can make a difference. I am happy to know that the government of Japan is working towards keeping the world healthy for our children. I think each person has a responsibility to our earth and to our children. Here are some easy ways we can make a difference. **Drive less.** Walk or bike, you'll save 1.2kg of carbon dioxide for every kilometer you don't drive. **Use less hot water.** It takes a lot of energy to heat water. **Avoid products with a lot of packaging.** You can save hundreds of kilograms of carbon dioxide if you cut down your garbage by 10%. **Plant a tree.** A single tree will absorb thousands of kilograms of carbon dioxide over its lifetime.



truth

Let's work together to keep our planet healthy!

### 地球温暖化

地球温暖化という世界に共通する話題があります。アメリカで最近、人々にその問題をよりよく理解させようとする映画がありました。それは「不都合な真実」という映画です。

ここに、地球温暖化の結果として起こりつつあるいくつかの状況があります。氷河が溶け、植物や動物は生息場所を奪われ続けています。また、猛烈な嵐や干ばつの数が増え続けています。若い自分でさえ、温暖化の影響を理解し始めました。

そんな状況をなんとか変える手段を、私たちは持っています。私は、子どもたちのために望ましい世界環境を維持することに向けて、日本政府が動いているということを知りうれしく思います。私は、私たちの地球と子どもたちに対し、一人ひとりが責任を持っていると思います。そこで、私たちにでもできる簡単な温暖化防止対策を紹介します。まず、**車を運転をしない**。歩きか自転車に変えることで、1kmごとに1.2kgの二酸化炭素の排出を抑えられるでしょう。**温水を使わない**。水を温めるために多くのエネルギーが消費されます。**過剰包装されている製品は購入しない**。もしゴミを今の10%まで減らしたら、何百kgという二酸化炭素が減らせます。そして、**木を植える**。たった一本の木が、枯れるまでの間に何千kgという二酸化炭素を吸収してくれるのです。

さあ、私たちの地球を守っていくために、一緒に活動していきましょう。

# 朝日町フォトコンテスト

この町には「自然」「歴史・文化」「人」など、ふるさと感じさせる宝物のような風景が数多く残っています。昭和29年11月に合併し2004年11月に50周年を迎えた朝日町。これを記念し「今残したいふるさとの宝」をテーマに募集したものの中から、選りすぐりの作品を紹介します。

## 佳作 「巫女の舞」



二百十日の風祭りで、孫のハッピー姿を撮影したのが始まりです。あれから13年。近頃は、町の風景を撮ることが多いです。平成14年度町の原風景フォトコンテストでは、能中棚田の作品を出品し優秀賞をいただきましたが、今回もこの作品で入賞できたことをうれしく思います。

この写真は、空気まつり前日も現地に足を運び、事前に構図を決めた上で撮影した1枚です。

写真を撮っていると、愛好者であるか否かに関わらず、思いがけないところで、思いがけない人との出会いがあるところがいいですね。これからも、趣味や気まぐれ程度に写真を撮り続け、この町を私なりに紹介できたらと思います。

撮影者 白田 徳夫 さん (大谷六)

### 春夏秋冬

編集後記

▽平成18年度もいよいよ大詰め。この時期になつてくると、広報紙の内容についても、やはりそれぞれの活動で、この一年間を締めくくる集大成のような記事が多くなります。そんな中でも、卒業式という感動的な儀式がある、そういった気分させるのか、今回も小中学校における様々な取り組みが、紙面を賑わせたような感じがします。

▽中でも、西五百川小学校の三年生がこの一年間りんご栽培を体験し、最終的な成果として、まちづくりへの提案という形で

まとめられたこと。すばらしいことです。

▽大人の発想にはない、それぞれ個性ある13のアイデア。まちづくりへのヒントが、何かしら隠されているもの。即実践可能なものもありました。

▽町の将来を担う子どもたちから、せっかく頂戴した提案です。まずは、できるところから実践してみること、今後のまちづくりにおける大きな一歩となるものと思います。

笑顔あり

芽吹く心に 涙あり

(はやけん)